

林産物



鹿児島・宮崎県 木材輸出戦略協議会（事務局：曾於地区森林組合） 『スギ、ヒノキ丸太を中国、韓国へ』

【主な品目】

スギ、ヒノキ

【主な輸出先国・地域】

中国、韓国

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成23年4月に木材輸出戦略協議会を設立し、同年7月から輸出を開始しており、現在は、鹿児島県・宮崎県の近隣4森林組合で活動。
- ◆ 4森林組合が連携することにより、国内需要の少ない大径材や低質材を安定的に集荷・供給することが可能となるとともに、九州の地理的利便性を生かしながら、中国を中心に販路を拡大。

【輸出実績】（平成23年から輸出開始）

	スギ輸出量(m ³)	ヒノキ輸出量(m ³)	出荷時期
平成28年度	38,737	2,149	通年
平成27年度	34,864	5,168	
平成26年度	28,637	7,484	

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 原木の安定的な集荷・供給体制の構築。
- ・ 他国との価格競争の懸念材料及び現地ニーズの情報不足。

【生じた課題への対応】

- ・ 県境を越えた森林組合が木材輸出戦略協議会を設立し、現在は4森林組合（鹿児島県：曾於市森林組合、曾於地区森林組合、宮崎県：都城森林組合、南那珂森林組合）が連携して輸出。
- ・ 国内外の現地視察や市場調査の定期的実施、輸出商社等からの現地ニーズ等の収集、協議会での情報共有。

【対応の結果】

- ・ 協議会で連携することにより、安定的な集荷・供給体制の構築と受注から出荷までの時間の短縮。
- ・ 現地ニーズに対応した原木の供給体制の構築。
- ・ 低材質や大径材の輸出により、森林所有者の所得の向上。

【今後の課題・展望】

- ・ 中国市場へ良質材や木材製品を売込み、産地間の連携による共同出荷でブランド化。
- ・ 木材輸出港としてのヤード整備。



志布志港ヤード



原木の積込状況



ニュージーランド
視察の様子

【連絡先】 担当者名：曾於地区森林組合 山下、TEL：099-475-1875